

OPEN SITE 2016 - 2017

チャンス・フィギュレーション

デシベル・ニュー・ミュージック・アンサンブル

with Decibel New Music Ensemble

ケージから現在へ。
オーストラリアからやって来た、
エレクトロニクスとアコースティック楽器によるアンサンブル“デシベル”と共に
デジタル・スコアを用いて偶然性音楽の新フィギュレーション化に挑む！

コンサート 1

「コンプリート・ジョン・ケージ・ヴァリエーションズ」

日本初！ジョン・ケージの「Variations」を全曲演奏。
デジタル化された図形楽譜が未知のVariationsを繰り広げる！

2016年 12月 9日 **金**

ジョン・ケージ Variations I - VIII (1958-1967)

19:30 開演 (18:30 開場)

18:45 - 19:15 プレトーク

コンサート 2

「チャンス・フィギュレーション・コラボレーションズ」

“デシベル・アンサンブル”と4名の作曲家とのコラボレーション新曲を演奏。
現代の作曲家が新たなテクノロジーでデザインする音楽の構造と偶然性。

アレクサンダー・シグマン	新曲初演	(2016)
高橋 溪太郎	新曲初演	(2016)
仲井 朋子	新曲初演	(2016)
平山 晴花	新曲初演	(2016)
リンゼイ・ヴィックリー (Decibel)	黒波	(2016)
キャット・ホープ (Decibel)	Majority of One	(2016)

* 曲順未定

2016年 12月 10日 **土**

19:30 開演 (18:30 開場)

18:45 - 19:15 プレトーク

Decibel New Music Ensemble

キャット・ホープ	フルート、ディレクター
リンゼイ・ヴィックリー	クラリネット、エレクトロニクス
アーロン・ワイアット	ヴィオラ、エレクトロニクス
スチュアート・ジェームズ	打楽器、エレクトロニクス
トリステン・パー	チェロ
ローラ・ボインズ	ダンス

全席自由
¥2,500

トーキョーワンダーサイト本郷

東京都文京区本郷2-4-16
(アクセス：御茶ノ水駅、水道橋駅、本郷三丁目駅各駅より徒歩7分)

OPEN SITE

tokyo wonder site
Institute of Contemporary Art and
International Cultural Exchange, Tokyo

申込方法

氏名、電話番号、ご希望の公演名、日時、チケット枚数をご記載のうえ、
件名を「オープンサイト 申込み」として、トーキョーワンダーサイト
E-mail: ticket@tokyo-ws.org までお申し込みください。(当日精算)

* 定員になり次第締め切らせていただきます。また、公演日前日の17:00をもってご予約の受付は終了いたします。
当日券につきましては、トーキョーワンダーサイトのウェブサイト (<http://www.tokyo-ws.org>) をご参照ください。

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

協力：MA Lab、Western Australian Department of Culture and the Arts Edith Cowan University

Biographies

デシベル・ニュー・ミュージック・アンサンブル Decibel New Music Ensemble

西オーストラリアのパースを拠点に、エレクトロニクスと楽器の融合、デジタル・スコア*の開発、そして作曲と演奏の音楽的拡張を探求している未来志向のアンサンブル。彼らのコンサートプログラム「コンプリート・ジョン・ケージ・ヴァリエーションズ」では、出版社Petersと協力してケージの図形楽譜情報をデジタル化し、8曲の「ヴァリエーションズ」全曲を世界で初めて1つのプログラムとして上演した。このデジタル楽譜に基づく演奏により、楽譜と演奏者間において、完全なヒューマン・インタープリテーションの場合とは異なる演奏解釈や、より斬新また精密な演奏表現が可能となった。ケージのプログラムを初め、彼らによるさまざまな画期的演奏プログラムは、既に世界各地で上演され高い評価を得ている。また、2009年の結成以来、60曲を超える委嘱作品を含むコンサートの他、5枚のアルバムをリリースするなどその活動は多岐にわたる。

decibelnewmusic.com

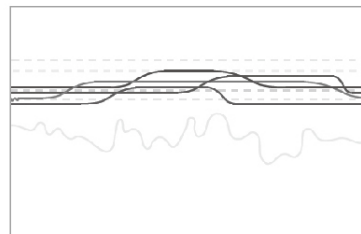
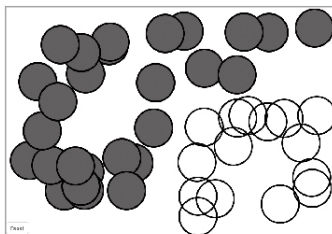
*モバイルスコアフォーマットと、ネットワーク同期演奏環境を組み込んだDecibel ScorePlayer (iPadアプリ)は、彼らが開発および商品化したデジタル・スコア・デバイスであり、チャンス・フィギュレーションでは、全公演でこれを用いて演奏される。



写真左より:アロン・ワイアット、キャット・ホープ、スチュアート・ジェームズ、ルイス・デヴェニッシュ、リンゼイ・ヴィックリー、トリステン・パー

ジョン・ケージ (1912-1992)

アメリカの音楽家、作曲家、思想家、キノコ研究者。さまざまな前衛的で独創的なアプローチや思想、表現により、音楽の定義を広げただけでなく前衛芸術全体に影響を与えた。「ヴァリエーションズ」は、1958年以降、約10年に渡ってIからVIIIまで作曲され、図形やテキストといったいわゆる図形楽譜による表記で構成されている。これらは、後に偶然性音楽やハプニングなどへの発展へとつながる、先駆的で重要な作品群である。



アレクサンダー・シグマン



表現メディアを問わず受賞歴のある彼の様々な音楽作品は、これまで世界中の主要国際フェスティバル、展覧会や研究機関等で取り上げられてきた。また、IRCAM研究所を始め、フランス、ドイツ、アイスランドでの研究や創作のための様々なレジデンスプログラム、フェローシップにも選ばれている。スタンフォード大学にて博士号取得。現在、山梨学院大学国際リベラルアーツ学部音楽准教授。

lxsigman.com

仲井 朋子



テクノロジーを軸とした音/音楽作品を国内外で発表している。またジャンルを横断する作品も多く、近作に青森EARTH2014(青森県立美術館)、マテリアライズ展III(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA)でのインスタレーションなどがある。国立音楽大学、同大学院音楽研究科修了。東京藝術大学芸術情報センター、洗足学園音楽大学、各講師。

nktmc.tumblr.com

リンゼイ・ヴィックリー (Decibel)



作曲家、演奏家、研究者。Decibelなど4つの国際的現代音楽グループを率いる。これまでアコースティックと電子楽器のために書いた曲は150を超える。特に楽譜と音楽構造のプレゼンテーションモデルに興味があり、奏者とエレクトロニクスを協調させる最新の方法論について国際会議などで積極的に発表している。エディスコウワン大学・西オーストラリアパフォーミングアーツアカデミー准教授およびコーディネーター。

lindsayvickery.com

高橋 溪太郎



作曲家、メディアアーティスト、プログラマー。1986年生まれ。2009年に国立音楽大学卒業後、スイス、バーゼル音楽院作曲科に留学。修士修了後、現在博士課程在学中。ヨーロッパを中心に室内音楽、電子音楽双方の分野で活躍しており、彼の作品は、入野賞やスイス Christoph Delz財団による作曲家賞を始め、世界各国で入賞、入選している。

neoterize.net

平山 晴花



作曲家、演奏家。国立音楽大学大学院修了。マンチェスター大学電子音楽作曲専攻にて博士号取得。インタラクティブ音楽作品を中心に、創作研究活動を行っている。作品はブルジュ国際電子音楽コンクールなどでの入賞の他、国際フェスティバルや国際会議等でも多数取り上げられている。また、ストックホルム電子音楽スタジオ(EMS)でのレジデントや、様々なアーティストとのコラボレーションなど、活動は多岐にわたる。

harukahirayama.com

キャット・ホープ (Decibel)



研究者、作曲家、演奏家、ソングライター、ノイズアーティスト。フルート及びベース奏者であり、Decibel ではさらにディレクターも務める。2011年と2014年に、実験的音楽の APRA | AMC Award for Excellence を受賞。また、2014年の Peggy Glanville Hicks composers house でのレジデント他、最近では、Civitella Ranieri や Churchill Fellowships にも選ばれた。エディスコウワン大学・西オーストラリアパフォーミングアーツアカデミー准教授。

cathope.com